



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2023年01月16日 第1101号「週刊五十嵐レポート」

社長が経営をしないとどうなる？

1月12日付朝日新聞、「ケアワーカーがいなくなる？」という記事。ケアワーカーの惨状を定期的に特集している。半年ほど続けた派遣介護職員を追っていた。

「人手不足は想像以上。正職員は今の状況に疑問を感じる余裕もなく、目の前の業務に追われている」。介護のやり方を尋ねると、「チューブを見て」。忙しすぎて、職場の意思疎通も乏しく感じた。職員に挨拶しても返事がない。仕事の状況を聞かれることもない。

利用者の「ありがとう」がうれしかった。介護の仕事が好きになり、契約を更新した。しかし、次第に疲弊が募り、働き甲斐が萎えてきた。何も期待されていないと感じた。この1月でやめる。

「運営者が責任を持って、人材確保や働きやすい環境づくりをすれば、現場の職員もこの仕事への希望が持てるのに…。今のままでは、職員も利用者も幸せになれない」。

社長が経営をしていない。経営不在の事業所である。介護事業者では不思議な事ではない。私の両親を見送る前に介護事業者に利用したが、そもそもこのような状態であった。介護事業者の社長は経営を知らない。戦略を知らない。故に無駄が多い。

経営を勉強している介護事業者曰く、「人間関係づくりや環境改善は大事で、今いる人たちが働きやすい環境づくりを目指し、新しい人が来てもコミュニケーションの時間を持つことが重要。介護業界はボランティア感覚で自分の背中を見てという人が多く、人を育てる意識が弱い。介護業界は経営を勉強している人が少ない。だから倒産も多いし、間違った戦略で苦境な会社もある。裏を返すと、経営を学び戦略を学び、教育の仕組みを構築していくと業績はどんどん良くなる。職場の雰囲気も更に良くなる。好循環」。

派遣や紹介会社からの雇用が恒常的になり、高額な経費が経営を圧迫している。良い会社は人は自ずと集まり、悪い会社は人集めもカネがかかる。社長の差でこんなにも違いが出てくる。(悪い会社は新聞の餌食になる)

ちょっと
気になる出来事

1月11日付日経新聞、「サンマ水揚げ最低」という記事。

22年のサンマ水揚げ量は1万7910トンと4年連続過去最低を記録。2012年に20万トンを上回る水揚げをしていたが、17年に10万トンを割り込み、その後も減少が止まらない。

同日付朝日新聞では、過去の乱獲による資源量の減少、海水温の変化で漁場が日本から離れた、さらに近年は中国や台湾など外国漁船による漁獲も増えている。

魚にもライフサイクルがあるということ。魚屋にサンマが溢れている時代が終わり、希少性の高級魚になるかもしれない。

サンマで生計を立てる漁師は今はいないのだろう。

どの世界にも、ライフサイクルがあり、一生同じ商品で生きていくことは困難。変化に対応していくしか生きられない。



一口メモ
知識

正しいところに付く

離(り)は麗(り)なり。日月は天に麗(つ)き、百穀草木(ひゃっこそうもく)は土に麗(つ)く。

「離(り)」は火を表す。離れる、付くという意味がある。

「麗(り)」は並ぶ、くっつく。

日月は天にあって輝き、植物は土に付いて生育する。同じように人間も正しいところに付くならば、物事が明らかになり、本来の充実が得られる。

火は何かについて燃え上がるが、万物も正しいところに付くことで、その力が発揮すると教えている。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

